和教時報

2023年４月15日（土）発行　第1996号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みぱん

給特法改正を多忙解消への「たしかな道すじ」に

3/21 全教公開シンポジウム

「給特法」は、「教員に残業代を支払わない」ことを決めている法律です。今、学校の多忙や教員のなり手不足など深刻な問題が起こり、文科省でもこの法律見直しの動きが出ています。こうした情勢を受けて、全教が長時間労働や給特法をテーマにシンポジウムを開催しました。

まず、昨年度みなさんにご協力いただいた勤務実態調査の結果報告があり、全職種の平均で、過労死ライン（残業月八〇時間）を超えている実態が示され、対策の必要性が訴えられました。

顧問弁護団の渡辺弁護士は基調講演で、給特法は教員の超過勤務を基本的に禁止しており、この規制を厳格に守らせ、それでも残業させた場合に残業代を支払わせるよう改正すべきだとしました。「教職調整額」の四％分を増額させようという議論もありますが、固定残業代のもとで過重労働をさせて問題になっている企業もあり、これには反対だとしました。

内田良さんらとともに運動し、給特法の抜本改正を求め八万筆の署名を提出した高校教員の西村祐二さんも登壇し、給特法を「定額働かせ放題」とわかりやすく表現したことによって、教育界以外の人にも運動が広められたと話しました。

桜美林大学の中村雅子教授は、「教員の労働条件は子どもの教育条件」とし、子どもの権利を保障するために、応答的かつ受容的な関係をもつ大人の存在が不可欠であり、それに見合う学校組織、労働条件、身分保障が必要だと指摘しました。

教員定数を研究している山崎洋介さんは、定数法の改正を訴えました。

全教の勤務実態調査では、約九割の教職員が教職員の増員が必要だと回答しています。私たちは金もうけのために残業代を求めるのではなく、残業代というペナルティを国・自治体に課すことで、教職員の増員に結び付けていくという観点が重要です。今回のシンポジウムでは、そういう多忙解消への「たしかな道すじ」を学ぶことができました。

輝いてワンショット

ず～っと戦後

（和歌山市支部 ママパパしゃべり場より）

ピンのスポット 408

年末の「徹子の部屋」で、二〇二三年はどんな年？と聞かれたタモリ氏が「新しい戦前になるんじゃないか」と述べました。岸田内閣はこれまでの「専守防衛」の方針を一八〇度転換し、先制攻撃を可能にするため、軍事費を倍増させ、アメリカから長距離ミサイルなどを爆買いしようとしています。もし、台湾有事が勃発し、自衛隊が米軍といっしょに攻撃参加すれば、沖縄をはじめ、日本が戦場となり、多くの命が奪われます。

今、教職員組合結成時の「教え子を再び戦場に送るな！」のスローガンが現実味を帯びてきています。「新しい戦前」ではなく、私たちの子どもや孫の世代まで「ず～っと戦後」が続くよう、国民世論の力で岸田内閣を包囲していきましょう！　（T）

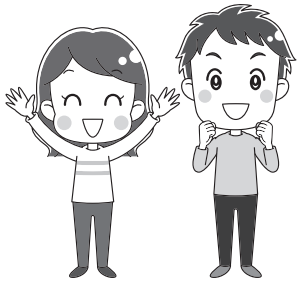
伊都支部スタート講座（教育基礎講座）
仲間づくりと子どもの見方・関わり方

伊都支部　書記長　窪田　賢

数年前から全県的に新規採用者の数が増えています。今年度も伊都地方では小中合わせて四十名前後の方が採用され、新卒新採の方も一定数います。初めて教壇に立ち、子どもたちと送る学校生活に期待と不安を抱いていることでしょう。

今年度は、新採からの三年間を振り返り教師として仲間づくりなど大切にしてきたことをお話していただきました。

もう一つは特別支援教育の観点から子どもの見方・関わり方について具体的にお話していただきました。



支部では新採者や講師の先生に「私もこんな取り組みをしてみたい」と思ってもらえたり、「子どもたちとの学校生活が楽しみ」と思ってもらえればとの思いで基礎講座に取り組んでいます。

「二人の先生のお話とても参考になり来てよかったなと思います。『あーそういうことだったのか』と気づくことが多くありました。来週からスタートします。不安でいっぱいですが楽しめそうです」

（参加者の感想一部抜粋）

海草支部スタート講座
さあ、いこか!!

海草支部　書記長　内田　健太

四月七日（金）一七時三〇分から、スタート講座を開催しました。徐々に行事がコロナ前のように開催できそうな気配の中、今年度ひとつ目のイベントとなりました。

今回の講座は、民研の助野先生をお招きし、「教室の後ろから見える風景」と題してご講義いただきました。『出会いのキーワードは、安心・見通し・希望』、新年度に向けて、大先輩からの熱いメッセージでした。その後、弁当を囲んでの座談会で交流しました。

はじめは少し緊張した空気が漂う中でしたが、自己紹介をしていくうちに笑いが飛び交うにぎやかな会になりました。初めての環境で不安に思っていること、ちょっとしたアドバイス、お互いの経験を交流する中で新たな話題にも発展して、おおいに盛り上がりました。会の後も個人的に話す輪がいくつもできました。

今回は、青年部を中心に声かけをさせてもらい、その結果、青年教職員一三人を含む、一九名の参加がありました。今回の講座を通してお互いのことを知ってもらい、顔つなぎの役割を果たせたと思います。今後も、学習会や青年部「ワカメの会」を開催していきたいと思っています。

長い間、おつかれさまでした

第47回全組合員集会

那賀支部　書記長　部家　司好

三月二六日（日）に第四七回全組合員集会を開催しました。今年も昨年同様、教育会館で退職者と新旧常任だけの集会となりました。退職される先生四人が参加してくださり、メッセージも一通寄せられました。支部から感謝状と記念品を贈り、ご苦労様とお疲れ様の気持ちを伝えました。参加された人、メッセージも要約してそのお話を載せます。

女性教諭：最後まで続けられるとは思わなかったが、組合が力になったと思います。支部の障害児教育部長になったとき、茶話会を開いて集まったことが記憶に残っています。今後も弱い立場の先生のためにも組合運動を頑張ってほしいです。

女性事務職員：私も組合に支えられたひとりです。事務職員部で市教委交渉をしたり、全国の人たちと交流できたりしたのも誇りに思っています。

女性事務職員：事務職員として、近畿ブロックの大会や全国教研に参加させてもらい、自分の視野がすごく広がりました。

女性教諭：きのかわ養護学校が振り出しで、教育はみんなで作り上げていくものだということを教わりました。みんなで支え合える職場が一番なので、そうなるよう頑張りたいです。

女性養護教諭：振り返ると苦しい時はいつも職場の組合の先生方や養護教員部の先生方に支えられました。養護教員部の部長として、いろんな取り組みを自分も楽しみながらやることができました。

こんないいお話すべてを、みんなに聴いていただきたかったです。来年は全員参加で開催したいと思いました。

「集まり」「語り合い」「学び合う」ことを大切に！

和教組　執行委員長　武田　正利

新年度がスタートしました。二〇二三年度は「教え子を再び戦場に送るな！」をスローガンに結成された教職員組合として、平和を願う多くの人々と力を合わせて、岸田内閣のすすめる「大軍拡」「戦争する国づくり」にストップをかけるための重要な一年となります。

多忙解消・働きやすい職場づくり、教育・教職員の自由と自主性を守る課題も重要です。競争と管理の教育ではなく、一人一人の子どもたちの成長・発達を保障する教育を実現するとともに、教職員定数改善や学級編成基準の改善、保護者負担軽減など教育条件整備を前進させるために、和教組の値打ち（集まり・語り合い・学び合う）を語り、仲間を増やしていきましょう！

2023年度 あすの教師塾 日程

日　程	曜	時　間	内　容	会　場
４月15日	土	13:30~16:30	教育法規①	高　校　会　館
５月13日	土	13:30~16:30	教育法規②	西牟婁教育会館
５月21日	日	13:30~16:30	教育法規②	和歌山県教育会館
６月３日	土	13:30~16:30	教育政策	高　校　会　館
６月４日	日	13:30~16:30	教育政策	西牟婁教育会館
６月17日	土	13:30~16:30	教　育　史	西牟婁教育会館
６月18日	日	13:30~16:30	教　育　史	和歌山県教育会館
７月１日	土	9:00~12:00	小論文①	和歌山県教育会館
		13:30~16:30	面接対策	和歌山県教育会館
７月８日	土	9:00~12:00	小論文①	西牟婁教育会館
７月29日	土	9:00~12:00	小論文②	和歌山県教育会館
８月５日	土	9:00~12:00	小論文②	西牟婁教育会館

※参加人数の状況で「中止」となる場合があります。

専門部の紹介

事務職員部

事務職員部の「事務改善交渉」では会計年度職員の出勤簿様式の統一や添付書類の簡略化に関して前向きな回答をもらうなどの前進があり、手応えを感じました。

栄養職員部

昨年度は「教材づくり」や「飯盒炊爨」「マグロのセリ見学」などに取り組み、学習・交流しました。栄養教諭の採用試験も実現できました！

障害児学校部

いろいろな職種の方々が集まって、子どもたちへのより良い実践のために、教育研究活動をおこなっています。今年も子どもの話をたくさんしたいね。

青年部

県内各地で楽しい活動をしています。写真は教育 DX についての学習会の様子です。

養護教員部

「性の多様性」を考える学習会を実施。

女性部

ママパパのしゃべり場をオンラインで県下に配信。子どもと一緒に参加できる企画を考え、交流を深めています。

和教組マップ

和教組本部

和歌山市小松原通3-20
TEL（073）423－2261
FAX（073）436－3243

和歌山市支部

和歌山市九番丁５
TEL（073）431－7317
FAX（073）422－2591

那賀支部

岩出市岡田696-4
TEL（0736）62－2202
FAX（0736）62－8895

伊都支部

橋本市野181-1
TEL（0736）32－0372
FAX（0736）34－2628

海草支部

海南市日方1271-40
TEL（073）482－0493
FAX（073）483－2970

有田支部

有田郡湯浅町湯浅2721-3
TEL（0737）62－4191
FAX（0737）62－3028

日高支部

御坊市湯川町財部254
TEL（0738）22－0199
FAX（0738）23－4656

西牟婁支部

田辺市朝日ヶ丘22-19
TEL（0739）24－1622
FAX（0739）26－0032

東牟婁支部

新宮市千穂1-3-25
TEL（0735）28－2244
FAX（0735）21－7452